

第7回研究集会

第3号通信

新時代のアセスメント～認知特性と適応の視点から～



一般社団法人日本LD学会

日本LD学会第7回研究集会第3号通信をお届けいたします。
今号は、シンポジウム話題提供でご登壇くださる大六一志先生のご紹介と、大六先生にお話いただくウェクスラー式知能検査の児童版WISC-Vについて特集いたします。

登壇者紹介 ②

シンポジウム話題提供： **大六一志先生**（元筑波大学教授）

教育相談等でもっともよく用いられる検査といえば、ウェクスラー式知能検査であるWISCでしょう。そのWISCにおいて大六先生は、第4版であるWISC-IVと最新版である第5版のWISC-Vの両方に刊行委員として関わっていらっしゃいます。さらに、ウェクスラー式知能検査の成人版であるWAIS-IV、幼児版のWPPSI-IIIの刊行委員もお務めになり、まさに日本版ウェクスラー式知能検査の第一人者の先生です。

日本LD学会の会員の中には、特別支援教育士(S.E.N.S)の資格を取得された方も多いと思いますが、特別支援教育士養成セミナーのテキストである「特別支援教育の理論と実践(第4版)」では、ウェクスラー式知能検査の章をご担当され、その理論や概要について、重要なポイントをわかりやすく解説されています。今回のシンポジウムでは、検査の概要にとどまらず、教育実践の場での活用について話題提供していただけるとのことです。

プログラム	
10:30 10:40	開会挨拶 小林玄(東京学芸大学)
10:40 11:40	基調講演 上野一彦(東京学芸大学名誉教授)
12:40	シンポジウム 新時代のアセスメント～認知特性と適応の視点から～ 話題提供 ・WISC-V 大六一志(元筑波大学教授) ・KABC-II 小野純平(法政大学教授) ・Vineland-II 黒田美保(田園調布学園大学教授) ・ASIST学校適応スキルプロフィール 橋本創一(東京学芸大学教授) 指定討論 上野一彦(東京学芸大学名誉教授) 藤野博(東京学芸大学教授)
16:10	閉会挨拶 橋本創一(東京学芸大学)

【知能検査に関わるご著書・論文等】

- ・「改訂新版 障害児・障害者心理学特論—福祉分野に関する理論と支援の展開」
放送大学教育振興会 2019
- ・「アセスメントのための主な心理・発達検査—特集アセスメント:指導・支援に生かす「子供理解」の深め方」
特別支援教育の実践情報 39(1) 2022
- ・「心理検査の結果報告書」
LD,ADHD&ASD 20(3) 2022
- ・「知能検査の“正しい”理解—課題の自覚と効果的な努力を導くために—」
発達障害研究 43(1) 2021
- ・「WISC-IV検査結果と発達支援実践の橋渡し—正しい理解と活用—」
LD研究 27(2)
- ・「CHC(Cattell-Horn-Carroll)理論と知能検査・認知検査:検査結果解釈のために必要な知能理論の知識」
LD研究 25(2)



大六先生は、
シンポジウムの話題提供でご登壇いただきます

学校現場とWISC

今から30年以上前、WISC-Rや、WISC-IIIなどの時代は、学校現場で「WISC」というものの存在はそれほどなじみがないものでした。障害のある子どものための学級や学校の教師でも「知らない」方が大半だったと記憶しています。

時代は下り、WISC-IVになると、特別支援教育を担当する教師はもとより、一般の教師も「WISC」といえば「発達障害の子どもの検査ね」くらいの認識はもっている時代になりました。WISCは、認知特性のアセスメントとして、おそらく学校現場で一番認知度の高い検査ではないかと思われます。

しかし、一方ではまだ正確な理解がされていないこともよく耳にします。特別支援学級への転学や、通級指導教室を利用する際に、単純に数値のみ使用されること。あるいは、子どもへの対応に困った教師が、保護者に対して意味もなく「病院でWISCの検査をしてきてください」と要求するといった例もあります。この現状を改善していくためには、「WISC」を正しく理解し、周囲への情報提供に努める専門家への期待が大きいところです。

WISC-Vの新時代です。言うまでもなく、WISC-Vによって、子どもの認知特性の傾向をつかんだり、改善すべき領域を特定したりすることで、的を絞った指導や支援を行うことができる可能性が高まっています。このWISC-Vの可能性について、今回の研究集会は私たちの貴重な学びの機会になることでしょう。

事務連絡

第1号通信にてお知らせしました情報を再掲いたします。

《日程》2024(令和6)年1月21日(日曜日) 《会場》日本教育会館 一ツ橋ホール +オンデマンド

《研究発表(ポスター発表)》 オンデマンド配信 《参加費》5,000円

《参加申し込み》

会場参加(定員700名) 2023年9月20日(水)~2024年1月5日(金)

オンデマンド 2024年1月11日(木)~2024年2月12日(月)

参加費の納入期限 会場参加:2024年1月10日(水) オンデマンド:2024年2月12日(月)

※「参加費の納入」をもって、申し込み完了とします。

お申込みはこちらから → <https://conference.wdc-jp.com/jald/ws2023/participant>

《特別支援教育士(S.E.N.S, S.E.N.S-SV)資格更新ポイントのお知らせ》

特別支援教育士資格更新規程に基づいてポイントが付与されます。

領域:特別支援教育士資格更新規程第2条V領域 ポイント数:参加者…2P

本研究集会の参加者ポイントについては、・会場参加の方:会場受付での来場確認・オンデマンド参加の方:オンライン会場へのログイン記録をもとにして運営事務局から特別支援教育士資格認定協会に申請します。

次号の登壇者紹介はKABC-IIの話題提供をしてくださる小野純平先生です。ご期待ください。この研究集会が、皆様にとって充実した学びの機会となること実行委員一同願っております。

